

WEEKLY REPORT

2018-2019年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン



承認/1965年 6月 25日
例会日/毎週木曜日 12時 30分
例会場/江南商工会館1F 大ホール
江南市古知野町小金112
TEL 0587-54-8132

事務局/江南商工会館別館1F
〒483-8205 江南市古知野町小金112
TEL 0587-55-6554 FAX 0587-59-7720
URL <http://www.kounan-rc.com/>
e-mail kounanrc@beach.ocn.ne.jp
会長/片平博己 幹事/波多野智章 会報・広報雑誌委員長/猪子明



2019年(平成31年)3月28日(木)晴れ 第2644回(当年度第30回)例会

点 鐘
司 会

ロータリーソング斉唱
四つのテスト斉唱

会長 片平 博己君
SAA 近藤 道麿君
「我等の生業」

会長挨拶

会長 片平 博己君



— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及びビジター紹介

けいとくちんとうじだいがく 景徳鎮陶瓷大学 元教授 二十歩 文雄 様



出席 100%表彰

5年 波多野 智章君



お花見のシーズンになってきました。なぜお花見をするのか、なぜみんなで宴会をするのかといえば、それは、寒い冬が過ぎて暖かい春が来て、桜が咲いてウキウキしてくるからでしょう。

しかし、それだけではないそうです。お花見は「予祝」と呼ばれるこの国の古代からある一つの呪術行事、農耕儀礼だそうです。「予祝」とは、「予め祝う」すなわち「前祝い」のことです。古代日本人の一番の願いは秋の豊作です。稲がたわわに実り、お米がたくさん取れることです。その願いの実現を引き寄せるためにやっていたのがお花見だということです。春に満開に咲く桜を、秋のお米の実りに見立てて、仲間とワイワイお酒を飲みながら先に喜び、お祝いすることでその願いを引き寄せる。この「予祝」の行事こそがお花見の由来だったのです。ちなみに、夏の盆踊りも、秋の豊作を喜ぶ踊りであり、予祝です。つまり前祝いすることで、その現実を引き寄せるというのが、日本人の夢のかなえ方だったのです。

そんな能天気な！現実はずっと厳しいぞ！一寸先は闇だぞ！と言われる方もいらっしゃると思いますが、現実はこの「予祝」とよばれる「引き寄せの法則」を使って成功した人がたくさんいるそうです。科学的な因果関係はわかりませんが、「深刻」と「真剣」は違います。日々まじめに取り組みつつ、道半ばでも前祝いをして、一気に夢をかなえていけたらいいですね。

幹事報告 -別紙- 幹事 波多野 智章君
 祝 福 -別紙- 尾関 育良君
 出席報告 富永 典夫君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
45名	32名	13名	82.05%
前々回 欠席者4名(3月14日)			
補正出席率 89.19%			

ニコボックス 富永 典夫君

けいとくちんとうじだいがく にじゅうぶ ふみお
 ○景德鎮陶瓷大学 元教授 二十歩 文雄 様 ようこそ
 江南 RC へおこしくださいました。本日の卓話「日本人
 初の常駐教員が感じた中国について」中国の本音の
 ところの話が聞けそうで楽しみです。

片平 博己、加藤 義晴、波多野 智章、暮石 哲真各君

○誕生日のお祝い、ありがとうございました。

木本 寛 君

○ちょっとした喜びがありました。

早川 一三 君

○本日 STS「日本人初の常駐教員が感じた中国につ
 いて」けいとくちんとうじだいがく にじゅうぶ ふみお景德鎮陶瓷大学 元教授 二十歩 文雄様よろ
 しくお願いします。

岩井 正彦、松岡 一成、富永 典夫、岩田 静夫、
 長瀬 晴義、濱島 聡一郎、岩田 進市、各君

卓 話

担当 加藤 義晴君



けいとくちんとうじだいがく にじゅうぶ ふみお
 景德鎮陶瓷大学 元教授 二十歩 文雄 様
 「日本人初の常駐教員が感じた中国について」



本日の食事



点鐘

会長 片平 博己君

(担当 杵本 哲一)